

花矢図書館だより

2
2019



大館市立花矢図書館
TEL・FAX 0186(46)1557
火～金：9:00～19:00
土・日：9:00～17:00
休館日：毎週月曜、祝日

〔一般書〕

童の神	(今村 翔吾)
龍華記	(澤田 瞳子)
葵の残葉	(奥山 景布子)
わたしの信仰	(アンゲラ・メルケル)
これからの日本の論点	(日本経済新聞社)
歩いて楽しむ～東京～	(JTB パブリッシング)
いい加減くらいが丁度いい	(池田 清彦)
美顔ボイトレ	(鳥山 真翔)
すてきな手編み	(日本ヴォーグ社)
他	

〔児童書〕

クリスマスをとりもどせ!	(マツト・ヘイグ)
つきーとカーコのけんか	(おくはらゆめ)
五七五の秋	(万乃華 れん)
読書がたくましい脳をつくる	(川島 隆太)
徂徠どうふ	(ささめやゆき)
ノラネコぐんだんおばけのやま	(工藤 ノリコ)
はりねずみくんのあかいマフラー	(はらだよしこ)
春は始まりのうた	(小路 幸也)
調べようごみと資源	6 (松藤 敏彦)
ほか	

◇今月のおすすめ図書◇

『葵の残葉』

この四兄弟がいなければ、幕末の歴史は変わっていただろう——。子福者と天下に羨まれた徳川傍流・高須家から尾張、会津、桑名に散った若き兄弟は動乱の中、維新派と佐幕派に分かれ対立を深めてゆく。葵の御紋の誇りを胸に、新時代の礎となった高須兄弟の運命を描く！

同じ血筋に連なりながら相戦うこととなった、“最後の徳川”たちの物語。

『クリスマスをとりもどせ！』

大人気“クリスマスは世界を救う”シリーズ第3弾！！サンタクロースが銀行強盗！？今度の敵はイースター・バニー！

エルフの村でファーザー・クリスマスたちと暮らすことになったアメリア。エルフの勉強はわからないし、そりの操縦でも大失敗。落ち込んで家出すると、森のまん中に大きな穴があった。そこではある計画が進んでいた……。

思わず「よかったねえ！」とほろっとしてしまう、幸せの

◇フィンランド式読書術◇

15歳の子どもの対象の国際統一テスト「PISA」では、「読解力」のテストがある。連続して1位の国がフィンランド。これによりフィンランドは、世界中から注目を集めている。

○楽しみながら「読書日記」をつける

読んだら一言でいいから感想を書くことと、日記を見て“これだけ本を読んだ”という、達成感・満足感を子ども自身が味わえるようにすること。本を探すには子どもと一緒に図書館や書店に行き、本に記された対象年齢や内容だけでなく、子ども自身が気に入った表紙の本を選ぶのもいい。

○「どうして？」の質問から感想を引き出す

本を楽しむには親も一緒になって読むことが大切。本を読み聞かせたり、朗読させたりする。ここで大切なのが、親が子どもに問いかけること。フィンランドの小学校では、生徒が意見を言うと先生が必ず「どうして、そう思ったの？」と聞く。生徒もそう聞かれると分かっているから、自分の意見を客観的に見るクセがつく。「どうして？」に答えることは、「意見-理由」という論理的な回路を頭の中に作る練習になる。大切なのは、正しく答えることではなく、子ども自身が考えてみることである。

◇今月のテーマ展示◇

大人向け 『本屋大賞 2019・歴代受賞作』

『ココロオドル恋愛小説』

こども向け 『おひなさま』

『いろんな鬼』

◇おはなし会◇

日時 2月13日(水)

10:30～11:00

場所 花矢図書館 児童室